
破産一家

リル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

破産一家

【Nコード】

N7084D

【作者名】

リル

【あらすじ】

あたしの家族は破産一家です。あたしの秘密。あたしには秘密があります。誰にでも秘密があるように。今のあたしは広い視野を持てるようになりました。【あたしはあたし】そう言い続けてきたあたしの【あたしはあたし】の意味が変化しました。あたしにはあたしのstoryがあります。あなたにはあなたのstoryがあつてちょうどいい。自分と違う価値観を否定してばかりいたあたしが変わって、今は毎日が新しい発見だらけで楽しくてしかたがない。

破産一家

あたしは破産者です。あたしの両親とあたしの姉も破産者です。つまり破産一家です。

今の日本には破産者なんてその辺にウジャウジャといます。ただそんなこと口にしただけなんです。

あたしが裁判所に破産決定の審判を受けにいった日にも、周りは破産者でゴツタ返していました。

口には出さないだけです。

所詮、他人は他人。自分を知ってもらう必要なんてないんです。

ただ、あたしのことをよく知っている人はいます。あたしのことから何でも知っている人がいます。

あたしには家族がいますから。

あたしを産んだ両親です。あたしの家族です。

それでもあたしの気持ちはあたしにしかわかりません。

いくら伝えたくても伝えられない気持ちだが、人間にはあるんです。所詮、人は目に見えるものしか信じません。

少なくともあたしは、そういう人間です。

『信じてるよ』

見えない信用を人に伝えるために使うセリフです。

あたしは『信じている』人に『信じている』とは言いません。

目に見えるものは『信じてる』ではなく『信じる』ことしかできないものです。

目の前にお金があります。

あたしはそれを『信じる』

そう、心で『信じる』のではなく、目で『信じる』ことができません。

現実には誰も裏切りません。

それ以上の期待はかけません。

あたしの家族は家族だと信じています。

戸籍を見ましたから。だから家族という現実を信じました。それは二度とあたしを裏切らない現実です。

人に『信じているよ』と言われると、切ない気持ちに襲われます。期待をかけるその言葉があたしには重すぎるんです。

勝手に信じればいい。

『裏切らないで』そう言われほうが、どれだけ楽だろう。

再生

【個人再生法】

何だか知ってますか？

今の時代の大人であれば誰でも知っているはずですよ。

なんて素晴らしい法律があるんだ。

あたしは法律のプロではありません。

簿記法律専門学校という学校に通っていましたが、いつも通称【オー】でとおっていましたし、卒業してから履歴書書くときに気づきます。そーいや【法律】？簿記の専門学校だと思ってた。かつこつけか、ただの飾りだろう位にしか考えもしなかった二文字に今、あたしは少しずつ関わりを持ち始めました。

4

今、あたしは国家試験の資格を取るために勉強をしています。
独学ですがね。

宅建ってやつです。

今あたしが住んでる家には、おじの不動産の事務所があります。

いつかあたしも、このようなでかいものを扱った商売を自分でしたい、と思いはじめたのがきっかけです。

宅建に法律は欠かせません。宅建業法という法律が存在していますし。

簡単に法律法律と言っても、『たかが法律、くだらない』と思うこ

ともありましたが、勉強してみると、楽しいものでもあります。

この法律のお陰で、助けられる人もいっぱいいます。

昔は言っていました。

『大きくなったら弁護士になるんだ』

法律という言葉さえ知らない頃に。

親の喧嘩の仲裁を冷静にいつもしていたからです。

年が経つに連れて冷静さが欠けてきました。

【法律なんてくだらない】と。

そんなあたしが助けられたのは、紛れもない【法律】によってであり、法律のエキスパートである【司法書士】の先生に、身も心も助けられたんです。

あたしの恩人ですね、彼は。

あたしにはやっぱりそんな仕事なんてできそうもありません。

やる気だっではありません。

それでも、少し興味を持ち始めました。

あたしの色んな意味での R e s t a r t 地点は、

【個人再生法】まさにこれだったんです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7084d/>

破産一家

2010年10月28日05時27分発行